

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道265号 下椎葉拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	宮崎県
起終点	自：宮崎県東臼杵郡椎葉村下椎葉 至：同県同郡椎葉村下椎葉			延長	3.8km	
事業概要	<p>一般国道265号は、宮崎県小林市を起点とし、熊本県阿蘇町に至る延長約200kmの主要な幹線道路である。</p> <p>下椎葉拡幅は、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長3.8kmの2車線道路である。</p>					
H6年度事業化	平成 - 年度都市計画決定	H6年度用地着手	H7年度工事着手			
全体事業費	約85億円	事業進捗率	78%	供用済延長	2.0km	
計画交通量	2,900台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 2.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 20/95億円 (事業費：18/91億円 維持管理費：2/3億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 43/111億円 (走行時間短縮便益：39/105億円 走行費用減少便益：3/5億円 交通事故減少便益：1/1億円)	基準年：平成15年		
事業の効果等	<p>・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のずれ違い困難箇所が解消される）</p> <p>・災害への備え（現道の事前通行規制区間の解消）</p> <p style="text-align: right;">他9項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>本工区は、幅員狭小・線形不良のため離合不能区間が多く、人員・物資の輸送、林業等の産業活動に支障をきたしているため、沿線住民および自治体で構成される入郷地域開発期成同盟会（平成15年9月2日）による整備促進の要望を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>ひむか歴史ロマン街道形成構成（平成13年3月）により「ひむか神話街道」に位置付けられた。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>本工区は、現道拡幅工事であり通過交通の安全を確保しながらの施工となるため、工事範囲が制限されたことや、急峻な地形であり、橋梁、トンネル工事が多いことから施工に時間を要したが、現在までに2kmを部分供用している。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>現在、本年度末の供用に向け下椎葉2号トンネルの工事を進めており、残る1号橋と1号トンネルについても平成16年度より順次着手し、平成19年度に全線供用予定である。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>本工区は、急峻な斜面にある現道を拡幅するため、山側を切土すると長大法面が生じることから、路側工を構築することにより、切土法面の発生を抑制している。</p>					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。